



「多古」



はしか かつらう めすけ
嘶家・桂右女助こと、地域おこし協力隊の梅田うめすけと申します。今月よりコラム担当を拝命いたしました。町内各地の伝承や由来などを紹介してまいります。初回は町の名でもある「多古」。

まず、近世まで多胡の表記も残っていたのが大前提。よく聞く語源は、A 多い湖、B 古い村が多い、C 田を耕す子(人)、D 多い胡(渡来)人。

このうち、A はちょっと苦しいでしょう。というのも、713 年に「地名は好字を選んで二文字」という天皇のお達しが出ています。普段使わない胡を湖にすることはあっても、逆は考えにくいです。それでも、商品名などに使うのは問題ありませんし、きれいですね。

B は、一つの村名に過ぎなかった多胡を広範囲に冠するときの名分だったように思います。画数が減って書きやすいし意味もいい、と。例えるなら、和(日本)で銅が採れた記念に元号を和銅にしましたが、それで作った貨幣、教科書でおなじみの『和同開珎』は「銅」ではなく「同」になっています。それと同じ感覚ではないでしょうか。

C は、富士山を祀る神社を創建した際、多古にあった沼を「田子の浦」見立てた後付け説、が伝わっています。上野の寛永寺を延暦寺に、不忍池を琵琶湖に擬えたのに似ています。

消去法で、語源は D が最有力。同じ字の多胡郡が群馬県にありまして、その由来が『古事記』より古い石碑に刻まれています。

胡とは中国から見た外国、もしくはその人や伝来してきた物(胡椒・胡麻など)を指します。現代の日本なら、唐辛子や唐棧柄の「唐」に近いでしょうか。もしかしたら、空港第 2 ビル駅入口に立つ個性的な埴輪のモデルが、当時の多胡村に住んでいたのかもしれない。

病院コラム

腹部超音波検査のあれやこれ

検査科 前田 野月

今回は、腹部超音波検査（エコー検査）のお話をします。

当院の腹部超音波検査では、肝臓・胆嚢・膵臓・脾臓・腎臓・大血管などに加え、可能な範囲で膀胱・前立腺／子宮・卵巣を検査しています。病変は、胆石、胆嚢ポリープ、腎嚢胞などさまざまありますが、一番の目的は、早期の腫瘍を発見することです。発見率を上げるためには、経年的な検査が大切です。

超音波検査は、近年、装置の改良がなされ、より鮮明に細かい部位を観察できるようになってきました。お腹の痛む所や気になる部位に超音波の出る医療器具を当てながら、体の内部の状態や動きを画面上で確認できる利点もあります。胆嚢の中に胆石かポリープか迷うものがあつたとき、検査体位を仰向けから横向きへ変えてもらい、胆嚢内で移動したら胆石と判断する方法が一つの例です。一方で、超音波は、空気・ガスや脂肪に富んだ部位は観察しづらく、時には評価困難となる場合もあります。例えば、肝臓に脂肪が溜まった状態である脂肪肝では、超音波は通りづらく正常肝に比べて画像が白っぽくボヤッと映ります。脂肪の度合いが高い場合は、肝臓の奥の方は観察しづらくなるため評価が難しくなります。

超音波検査で評価が難しい場合、当院にはCTやMRIという手段もあります。CTやMRIは臓器全体を把握することが得意で、超音波が苦手な空気・ガスや脂肪に富んだ部位を含め全体を画像化できます。それぞれの強みを生かし、早期発見に努めていきたいと思ひます。

【病院便り】

多古中央病院の受付時間は午前 11 時 30 分までとなっています。それ以降は、医師も検査や手術などで対応できないこともあるため、受診前に必ず確認の電話をお願いします。

☎ 76-2211

まちづくり志民活動助成事業 ～町民の皆さん、主役は「あなた」です～



多古町では、「志民団体」による新たなまちづくりの展開を支援するため、「まちづくり志民活動助成事業補助金」を創設しています。

町民の皆さんの豊かな発想こそが、町をより魅力ある姿へと導く原動力になります。皆さんのアイデアを形にして、これからも町の発展にご協力ください。

令和 6 年度 活動報告

3 月 23 日(日)に開催された報告会で、多古町まちづくり審査委員会が令和 6 年度に採択された 4 事業を審査し、各事業を実施した志民団体へ講評を行いました。なお、講評内容は、町ホームページをご覧ください。



多古城郭保存活用会「日本一の御城印のまち 多古町御城印 15 城デジタルスタンプラリー」

SNS や新聞、さらにはお城 EXPO での周知活動だけでなく、山城ガールむつみさんによるバスツアーなどを通じてデジタルスタンプラリーの参加者は 200 人を超え、町の活性化に寄与することができました。今後も日本一の御城印のまちとして多古町ブランドのさらなる磨き上げに努めていきます。

多古町 DX 推進委員会「デジタルアトラクションの導入による効果検証と親子のインターネットリテラシー教室の開催」

2 月 16 日(日)に多古町コミュニティプラザで開催された「わくわくキッズフェスタ」で、VR アトラクションイベントとインターネット安全教室を実施しました。子どもたちにデジタル体験を楽しんでいただくとともに、親子のネットリテラシーの向上に取り組みました。参加者は 130 人を超え大盛況の事業となりました。

多古ミュージックサロン「展示会＋講演会＋ミニコンサート」

クラシックギターの展示会＋講演会＋ミニコンサートを 12 月に多古町コミュニティプラザで開催しました。展示会ではギターの歴史と発展を説明したパネルを設置し、来場者に向けて解説を行いました。講演会とミニコンサートを 12 月 15 日(日)に実施し、演奏だけでなく、ギターの制作過程やその歴史に関する講演を行いました。

たこふり実行委員会「多古町移住支援イベント及びフォローアップ」

近隣市町で開催されたイベントに参加し、移住を希望される方々に対して移住相談を行いました。さらに、町の雰囲気を知ってもらうために、先輩移住者との語らいの会やフリーマーケットを町内で開催し、地域の魅力を直接体験していただく機会を提供しました。これらの取り組みの結果、移住相談を受けた方が実際に町内へ移住されました。今後も引き続き、移住者を増やす活動に取り組んでいきます。

令和 7 年度 採択事業

令和 7 年度分の事業の募集を行ったところ、4 件の事業提案がありました。5 月 18 日(日)に開催された審査委員会でご団体のプレゼンテーションを行い、選考を行った結果、下記の 2 件が採択されました。

①多古町航空教育推進協議会「成田空港職場体験ツアー」

町内の小学校高学年を対象に、航空に関する基礎知識や魅力を伝えるレクチャーを定期的に開催します。町内の中学生、高校 1 年生を対象に、成田空港関連企業への職場見学、実際の仕事現場を体験するツアーを開催します。

②多古城郭保存活用会「並木城を続々日本 100 名城(仮称)にする磨き上げプロジェクト」

「日本 100 名城」「続日本 100 名城」に続く「続々日本 100 名城」が選定された際、並木城が選ばれることを目標に SNS での情報発信やフライヤー・新聞を通じた認知度の向上を行います。草木を整備し、のぼり旗と解説板を設置した並木城でお城開きを開催します。

町では、このような町民主体のまちづくり活動を支援していただける企業、団体、個人の方々からの「志民活動支援寄付金」を募集しています。詳細はお問い合わせください。

お問合せ●空港まちづくり課都市計画係 ☎ 76-5408